
カラーOCR ライブラリー

免許証認識ライブラリー for iOS リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

=== Ver. 3.00 変更内容 ===

=====

新機能

- ・指定した任意の矩形座標のマスク処理を行う機能を追加

機能強化

- ・運転免許証のコーナー4点の座標を検出する機能について、AIによる検出処理を行うAI版を追加

仕様変更

- ・住所から郵便番号を取得するAPI関数 IDRDriverLicGetZipCode で、住所文字列が空文字列の場合にエラーとしていたが、エラーとせず郵便番号リストのサイズを0として返却するように変更
-

=== Ver. 2.70 変更内容 ===

=====

機能強化

- ・旧姓(旧氏)の併記へ対応

仕様変更

- ・Ver. 2.70 (Windows版)をベースとしてiOSへ対応
- ・動作環境のOSを以下に変更
 - ・iOS 11 / 12 / 14
- ・開発環境の対応Xcodeを以下に変更
 - ・Xcode 12

不具合修正

- ・認識結果の文字列にヌルポインターが返却される場合がある不具合を修正
 - ・画像処理(台形補正/自動傾き補正/自動回転)後の画像を取得しない指定ができなかった不具合を修正
 - ・認識結果に不正な文字コードが挿入される場合がある不具合を修正
-

=== Ver. 2.10 変更内容 ===

=====

新機能

- ・マルチスレッドでの動作に対応
- ・64ビットネイティブ対応

精度改善

- ・ 姓名、住所、生年月日、有効期限、交付日の認識精度を改善
- ・ 四点検出の精度を改善

仕様変更

- ・ Ver. 2.00 をベースとして iOS へ対応
- ・ 以下の API を廃止し、Ex なしの API へ機能を統合
 - ・ IDRDriverLicPreprocessRecogEx()
 - ・ IDRDriverLicRecogFieldsEx()
- ・ 開発環境、動作環境として以下の OS に対応
 - ・ iOS 10
- ・ XCode の以下のバージョンに対応
 - ・ XCode 7.0
 - ・ XCode 8.0

=== Ver. 2.00 変更内容 ===

- =====
- ・ Ver. 2.00 は未リリース

=== Ver. 1.31 変更内容 ===

不具合修正

- ・ 姓名の読み仮名で「ド」、「ボ」、「ポ」の濁点・半濁点が 1 文字として出力される不具合を修正

仕様変更

- ・ 免許証番号の認識結果が 12 桁以外の場合は有効性チェックエラーとする仕様へ変更
- ・ 免許証番号の認識結果に空白が含まれる場合は有効性チェックエラーとする仕様へ変更

=== Ver. 1.30 変更内容 ===

不具合修正

- ・ 背景が複雑な画像で台形補正を実行すると強制終了するところがある不具合を修正
- ・ 背景が複雑な画像を認識させると強制終了するところがある不具合を修正
- ・ 免許証を複数並べた画像を認識させると強制終了するところがある不具合を修正
- ・ アスペクト比が 16:9 や 4:3 以外の画像を認識させると強制終了するところがある不具合を修正

精度改善

- ・ 姓名後処理の精度を改善

仕様変更

- ・ 動作環境として以下の OS に対応
 - ・ iOS 8 / 8.1

=== Ver. 1.20 変更内容 ===

□新機能

- ・住所から郵便番号を取得する機能を追加
 - ・IDRDriverLicGetZipCode()
- ・動作モードを設定・取得する機能を追加
 - ・IDRDriverLicGetDefaultProcMode()
 - ・IDRDriverLicGetProcMode()
 - ・IDRDriverLicSetProcMode()

□機能強化

- ・各フィールドの矩形座標の出力に対応
 - ・IDR_FIELD_RESULT::rect

=== Ver. 1.10 変更内容 ===

□新機能

- ・以下の項目の認識機能を追加
 - ・免許証の色
 - ・免許の条件
 - ・二輪・小型・原付免許取得日
 - ・その他免許取得日
 - ・二種免許取得日
 - ・免許証の種類
 - ・公安委員会
- ・免許証の有効性チェック機能を追加

□機能強化

- ・姓・名の読み仮名の出力に対応
- ・スキャナー画像の画像解析処理の精度を改善

□仕様変更

- ・動作環境として以下の OS に対応
 - ・iOS 7.1

=== Ver. 1.03 変更内容 ===

□機能強化

- ・傾き補正後画像の画質を改善
- ・自動回転の精度を改善
- ・スキャナー画像の画像解析処理の精度を改善
- ・認識対象フィールドの切り出し精度を改善

=== Ver. 1.02 変更内容 ===

□新機能

- ・自動傾き補正の機能を追加
 - ・IDRDriverLicAutoSkewImage()
- ・自動回転の機能を追加
 - ・IDRDriverLicAutoRotateImage()
- ・スキャナー画像用の画像解析機能を追加
 - ・IDRDriverLicPreprocessRecogEx()

□仕様変更

- ・各フィールドの切り出し画像が確認できるサンプルプログラムに変更
 - ・ファイル名変更
 - ・libStatsiDrvLicOCR.a → libiDrvLicCardOCR.a
-

=== Ver. 1.01 変更内容 ===

□新機能

- ・氏名を姓・名に分割しての出力に対応
 - ・住所を都道府県・市町村・地域に分割しての出力に対応
 - ・フィールドの切り出し画像の出力に対応
 - ・各フィールドの認識結果について、候補文字情報や確定・未確定情報の出力に対応
-